

MITO ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

(2016-17年度 国際ロータリー・テーマ)



16.M.Yokosuka

笠原水源 吐水口 (水戸市)

多様な文化との出会い

白田 礼治 (幼児教育関連)

今年日本に訪れた外国人観光客の数は2000万人を超えたそうです。今後も2020年の東京オリンピックを機に、世界にむけて日本を広く知っていただく為の取り組みが熱を増していくのだと思います。国や地域においても様々な発想で地方創生の起爆剤としてどのように取り組んでいくのか大変興味のあるところです。ある日のテレビ番組で外国人観光客から見た日本の食文化についてこんな話が取り上げられていました。それは日本人なら誰でも食べた事もあり大好きな食べ物の「ラーメン」。27年度のラーメン消費量を都道府県別に見てみると茨城県は消費量全国で8位。一人あたり8.3杯(外食のみ)のラーメンを消費した計算らしいです。まさに国民食とも言えるラーメンですが、外国の方にも人気で観光に来た方などは日本に来たなら是非ラーメンを食べてみたいという方も多いです。そんな外国人にも人気のラーメンですが、その食べ方に不満があるとの声が多い

との事でした。普通私たちはラーメンを食べる時麺を「ズズッ」とすすって食べますが、外国人の方にはその音を出して食べるというのは行儀が悪いと不快感を感じるそうで、ヌードルハラスメントという言葉もあるそうです。音を立てて食べるからラーメン。じゃないと食べた気がしないし美味しいと思うのですが…。日本で生まれ育ってきた私にとっては当たり前の事であったので、この番組での外国の方達の反応はいろいろと感じ方があるものだと改めて思うところでした。今後世界中のたくさんの人々が日本を訪れると思いますが、私達もその方々の国の文化を知り触れる事も多くなってくる事だと思います。すりながら食べる日本のラーメンの美味しさを世界中の方に感じて頂きたいし、食の文化だけではなく様々な日本の文化を知っていただけたらとても嬉しい事だと思います。と同時に知らなかった外国の文化との出会いということも楽しみにしていきたいと思います。

No. 24 2016・12・20

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

■事務所

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mitо-rc.jp/>

水戸ロータリークラブ

■会長 高原 裕 ■幹事 成田 浩明

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

【卓 話】 災害派遣について

自衛隊茨城地方協力本部長 北川 英二 氏



＜関東東北豪雨の災害派遣の状況＞

常総市での被害は、あらゆる気象の悪条件が重なり発生したものでです。

2か所の決壊場所から水が溢れて、濁流で人もボートでも近寄れない状況でした。唯一の救出手段がヘリコプター、上空からピックアップするしかない状況でした。そして水も行き場を失ってしまったために、常総市役所まで浸かってしまいました。

流出寸前の家屋より救出された少年は「将来は自衛隊になる」と言ってくれたそうです。

水量が落ち着いた段階での渡河ボートによる孤立者の救助、夜間徹しての救助活動。隊員も市役所に詰めて情報掌握を考えましたが、全て水に浸かってしまい孤立したそうです。国交省と自衛隊が連携し排水作業をしました。決壊個所の修復作業。応急堤防、この修復作業は自衛隊の知見だけではできないことも多く土木業者の知見を活用して教えてもらひながらの活動になつたと言います。ポンプ車による応急道路の補修です。自衛隊の行った活動としては孤立者の救助、避難支援、行方不明者の捜索、幼稚園等の防疫支援、入浴支援、給水支援、施設作業と多岐にわたって活動しました。その成果としてまとめますが、人員については延べで10,800名活動、車両は2,150両、ボートは180隻出して航空機は105機で救助活動をしました。孤立者の人命救助は2,015名、そして残念ながら行方不明者の発見1名でした。

＜教訓＞

第一：情報の把握

予測しきれない気象状況は、過去の教訓が生かせない。最悪の事態を考えて行動しないといけないと思います。茨城県の水、河川、地形などを熟知する必要があります。起こったことに対する、あらゆる情報網を活用してリアルタイムに情報を掌握することが必要です。特にこ

れは自治体の活動で必要になると思います。自衛隊には手足はありますが情報がないと動けない。プッシュ型といい、まずは被災地に運び込むというのが主体になります。そこから先は情報がないと動けません。いかに無駄なく動くかは、情報の集約をいかにするかが課題です。情報の集約、効率的な掌握のために各機関（市町村・自衛隊・国）の連携が必要です。

第二：関係機関、民間団体との連携

被害発生時に迅速な対応をするため、関係機関、民間団体との連携が重要になります。常総市の堤防修復作業の教訓で、土木技術専門のノウハウを提供してもらう。サービスエリア等を活用しへリスポットとして使えるところは連携をしていく。

ヘリの管制の場合も周波数を管轄する総務省。災害派遣における対応においては官、民、自治体等、横の連携、多岐にわたる連携がいかにできるかということが非常に重要です。とりもなおさず平時から協定を締結することが重要であると教訓として思います。

＜危機管理に関する私見＞

各自治体内での災害対処マニュアルの未整備です。マニュアルがないと実際動けません。普段からしっかり認識しておく必要があると思います。

2つ目は自治体内での訓練です。マニュアルがあるだけでは人は実際には動きません。実際にその時に、何を情報収集・どことの対応などを細かく決めておく必要があると思います。そしてネットワークをいかに構築できるか、最近ではNTTなども活用して災害が起こった時には情報を流すことがあります。これは非常に有効な手段だと思いますが、ネットワークをいかに活用するかが課題です。

それから市民全体の危機意識が低いです。過去事例をしっかり周知、定期的な訓練により風化を防止するのが大切です。その他市民自身における自助努力、国・自治体が全てやってくれる、ではなくて自分の身は自分で守るというのが必要です。特に自治会、自主防災組織、PTA等の活用が大事です。

以上簡単ではありました、私の講話という形で大規模災害の対応とさせていただきました。ご清聴ありがとうございました。

北川 英二 氏プロフィール

今年年男、茨城県阿見町出身

一等空佐（昔で言う大佐）

F15戦闘機のパイロット

自衛隊の募集等は私の任務

趣味はロードレースバイク

防衛大学の36期 平成4年卒業、航空工学等を

学び、ラグビー部で活躍

<パイロットとして>

防大卒業後に幹部候補生学校で学ぶ。適性を認められ3年半日本各地で、パイロット教育を受ける。T-3初等練習機から始まり、T-1ジェット機で編隊飛行、軽飛行の基礎を学ぶ。

アメリカ・コロンバスエアフォースベースを約半年おきに移動する。T-38ジェット戦闘機での訓練と基本的な戦術や技能を勉強し、ここで日米の人の育て方の違いを強く感じる。同クラス生（アメリカ人が25人日本人が5名）の中に、宇宙飛行士の油井亀美也さんも、彼は防大同期で、以来アメリカでもずっと一緒に、

一人前のパイロットになったという証のティングマークと共に受け取っています。彼は非常に論理的な人間です。

茨城県百里基地、第7航空団に配置。教官として幹部候補生学校の副隊長として約2年幹部の教育に関わる。

飛行隊に戻り、石川県の小松基地中央の航空幕僚監部、防衛課（政策を決め、予算をとる、財務の折衝する前の段階で検討する部署、平時においても信頼関係の醸成を担当する）任務にあたる。

2年後、補任課（自衛隊のパイロット全ての人事を受け持ち数千人のパイロットの人事に関わる）。

百里基地、305飛行隊飛行隊長

統合幕僚監部（統合幕僚監部とは：陸・海・空を束ねた運用をするのを統合運用と言っています。つまり二軍種以上の運用をするところを統合運用司る部署で、自衛隊の運用はすべてこの統合幕僚監部が、陸海空すべての自衛隊の部隊を指揮する統合運用が今は当たり前で、日本以外の国でも統合運用が普通）

航空幕僚監部で防衛調整官（防衛課長の補佐役）。

今現在に至る。

例会報告

12月第3例会

司会 高尾副委員長

◇ ゲスト紹介

自衛隊茨城地方協力本部

本部長 北川 英二 氏

総務課 総務幹部 市村 英一 氏

◇ 会長の時間

高原会長

本日は今年最終例会です。7月から始まり、はや半年。皆様のご支援で折り返し点を迎えることが出来ました。

本年度の方針は「一人ひとりの笑顔を美しいクラブを目指して」です。半年が経過し、残念ながら出席率が芳しくなく会長の力不足と痛感しています。昨日、水戸市内6クラブ会長幹事会が開催され、西クラブは初めて90%を切つ

て問題になっているとか。年度末までには何とか挽回できるように魅力あるクラブを実現したいと思っています。

来年は「酉年」酉年は商売繁盛につながるといわれています。「酉とり」は「取り込む」に繋がるといわれ運気もお客様を取り込めるということだそうです。出席率の悪い会員も取り込めると良いと思っています。

皆様、良い年をお迎えください。

◇ 出席報告

岡崎委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
114名	75名	39名	67.57%

前週訂正出席率 72.73%
前々週訂正出席率 70.00%

◇ 会員メークアップ

12/16 水戸南RC 横須賀満夫
12/17 諮問委員会 井上 壽博
12/18 青少年奉仕委員会
安 圭一、西 修
12/19 水戸さくらRC 内藤 学
12/19 ワールド大阪REC 清水 洋一

◇ にこにこBOX

山口(政)副委員長
幡谷会員……ガバナー補佐に対してご協力ありがとうございました。皆様良いお年を。
高原会員……今年は皆様に大変お世話になりました。来年も宜しくお願ひ致します。
内藤会員……高原会長、成田幹事、半年間大変お疲れさまでした。
田中会員……高原会長、成田幹事半年間お疲れ様でした。来年が水戸RCの会員の皆様にとって素晴らしい年であります様に！
藤田(治)会員……誕生日お祝ありがとうございます。
山口(政)会員……にこにこBOXへのご寄付ありがとうございます。来年もよろしくお願ひ申し上げます。

本日の合計	6 件	30,000円
12月の合計	28件	143,000円
累 計	276件	1,506,000円

◇ 財団BOX

戸羽 透会員……財団の友献金
(第9回) \$100 10,600円
(累計 \$900)

この計	1 件	10,600円
-----	-----	---------

◇ 幹事報告

成田幹事

- 次年度理事会が開催されました。
とき 12月13日(火) 13:40
ところ 例会場
議題 次年度会場監督の選出について

2. 1月定例理事会が開催されます。役員理事の方々ご出席ください。

とき 2017年1月10日(火)

ところ 例会場

- 議題 1) 新入会員の所属委員会について
2) 職場訪問について
3) 例会場変更について
4) 中期計画特別委員会について
5) 第3分区IMについて
6) 1月・2月例会プログラムについて
7) 会計報告
8) その他

3. 川崎 洋会員には、米山功労者(第2回)となられました。

4. 2017年近隣クラブ例会時間臨時変更のお知らせ

・水戸西RC

1月4日(木) 定款第7条第1節により休会
1月11日(木) 於 常磐神社

1月25日(木) 17:30 於 水戸プラザホテル

・水戸東RC

1月5日(木) 18:30

1月19日(木) 於 水戸特別支援学校

・水戸南RC

1月6日(金) 18:30

1月27日(金) 12:30



週報担当 片岡 宗巖 副委員長

例会予告

1月17日(火)

新年家族例会 18:00 於 山口樓本店

1月24日(火)

卓話「食の宝庫「いばらき」から発信する農業の明日」

—日本をリードする先進農家—

潮田 武彦氏(下館RC)

大和田 忠氏(下館紫水RC)

1月31日(火)

卓話「未定」

岡部しのぶ氏
(水戸高等特別支援学校 校長)